

令和4年度 天龍中学校 グランドデザイン 2022.4.1

生徒の願い 生徒会スローガン

令和4年度は未定。

伝えていくこと

保護者の願い

- ・自立できる行動力を身につけてほしい。
- ・他者を大切にできる優しい心を持ってほしい。
- ・ふるさと天龍村を大切に思い、地域の方とかかわる機会を多く持つてほしい。

学校長の願い

- ・トライ&エラー（チャレンジ）
- ・プラスワン（もう一歩前へ）
- ・正しくインプット、積極的にアウトプット

学校教育目標

- | | |
|-----------|---------------|
| 自主 | 自ら学び、自ら行う生徒 |
| 敬愛 | 尊重し合い、善を求める生徒 |
| 鍛磨 | たくましく、さわやかな生徒 |

天龍村の子ども達に願う姿

～教育要覧より～

自然・人間・文化の豊かな郷土を愛し
世界に通用する人間になろう

地域の実態

- ・豊かな自然を有し、林業がさかんだった村
- ・高齢化率は 60%をこえ、全国2位
- ・ふるさとを大切にする心が子どもに育つことを願い、そのために協力を惜しまない

天龍小学校 本年度の重点目標

自らの願いに向けて追究していく
子どもの育成

本年度の重点目標（願う生徒の姿）

ひとりになれる ひとつになれる

～ひとりになれる～

- ・自分と向き合い、見つめ直すことで自己を向上させる生徒（キャリア教育、家庭学習、朝読書等）
- ・他者に依存せず、自立して行動する生徒（キャリア教育、10分間走、若鮎タイム等）
- ・自ら課題を発見し、主体的にその解決に立ち向かう生徒（ふるさとタイム《探究の時間》、授業等）

～ひとつになれる～

- ・他者を尊重し、学び合い高め合う生徒（人権教育、全校道徳等の授業、小中連携一貫）
- ・地域とのかかわりを大切にし、地域とひとつになろうとする生徒（ふるさとタイム・梅花PRO等）
- ・課題解決に向かって協働的に取り組み、達成感を共有する生徒（学級総合、森林レボ等）

研究テーマ：学びを自覚し、自ら伸びようとする「自主」の心を育てる指導（二年次）

自己とふるさとの未来を見つめ、未来を拓く力と天龍力を育む

天龍力 地域発の豊かな学びを通して天龍村でなければつかない力（天龍村教育要覧より） ※以下の●は本年度の重点項目

●ふるさとと探究的に向き合う総合的な学習の時間

- ・自他との対話を通して深ま「探究の時間」（ふるさとタイム）
- ・体験を通して学ぶ「学級総合」

○効果的かつ効率的に資質・能力を身につけるICT教育

- ・PCを利用した個別最適な学習
- ・遠隔での意見交流
- ・学習者用端末を活用した家庭学習

○資質・能力を伸ばす「主体的・対話的で深い学び」の授業

- ・主体的に学ぶ意欲を生む問いかけ
- ・自分や友と対話して深める追究
- ・高まりを実感できるふりかえり

●自らを高めるために、自立てて学ぶ家庭学習

- ・目的をはっきりさせた自主的な学習
- ・できないことをできるようにする、できないことをさらにのぼす学習
- ・自分の特性に合った内容と方法

●「天龍に生きる自分」を見つめるキャリア教育

- ・職場見学、職場体験、福祉体験
- ・梅花PROJECT、森林レボリューション
- ・運動会、梅花駅伝等の地域行事

○「多様性に対する開かれた心」を育む教育

- ・全校道徳、異学年合同道徳
- ・人権教育旬間（6月）月間（11月）
- ・健康教育（性教育、健康管理）

未知の状況にも対応できる

思考力、判断力、表現力など

実際の社会や生活で生きて働く

知識や技能

学んだことを人生や社会に生かそうとする

学びに向かう力、人間性

※自己評価

- ・生徒による評価（7,12月+授業）
- ・保護者による評価（12月）
- ・NRTの活用（全国学力調査の活用）
- ・PTA会長による学校関係者評価（1月）

※外部評価

- ・民生委員による評価
- ・地域住民による評価（授業参観、行事の時など）
- ・コミュニティスクールの活用

※教育委員による評価

- ・定例教育委員会
- ・村内校長会
- ・授業参観、公開授業